

ホルムズ海峡危機が原油相場の不安定要因

米原油先物 (WTI) 相場 <過去1カ月>



トランプ米大統領(4/5)

- * 撃墜されたF15のパイロット2名を救出成功
- * 米東部時間7日午後8時までにホルムズ海峡の開放に応じなければ、発電所などへの攻撃を開始すると警告(SNS)。

アクシオネス報道(4/6)

- * 米国、イラン、中東湾岸地域の仲介諸国が45日間の停戦に向け協議中と報道した。
- ①即時停戦しホルムズ海峡封鎖解除、②15-20日にかけて包括合意(イスラマバード合意)を目指す。

トランプ大統領(4/6)

「ホルムズ海峡の自由な通行が合意の条件だ」と述べ、イランは海峡を開放させねば「一夜にして壊滅される」。バンス副大統領を水面下の停戦交渉に参加させている。

トランプ大統領の演説(4/2) 概略

- * 米国は圧倒的な勝利を収めている
- * 今後も2-3週間攻撃を続ける可能性
- * イランを「石器時代」に戻す
- * イランと停戦協議進行(イラン否定)
- * 紛争が終わればホルムズ海峡は開く

大統領の「3つのルール」と対イラン強硬姿勢に注意

トランプ氏の「勝つための3つのルール」

1. Attack, attack, attack.
(攻撃、攻撃、攻撃)
2. Admit nothing, deny everything.
(非を認めるな、全否定しろ)
3. Always claim victory, never admit defeat.
(どんなに劣勢でも勝利を主張し続ける)

(出所) 「アプレンティス：ドナルド・トランプの創り方」 (ロイ・コーン弁護士の教え)

1988年当時のインタビュー

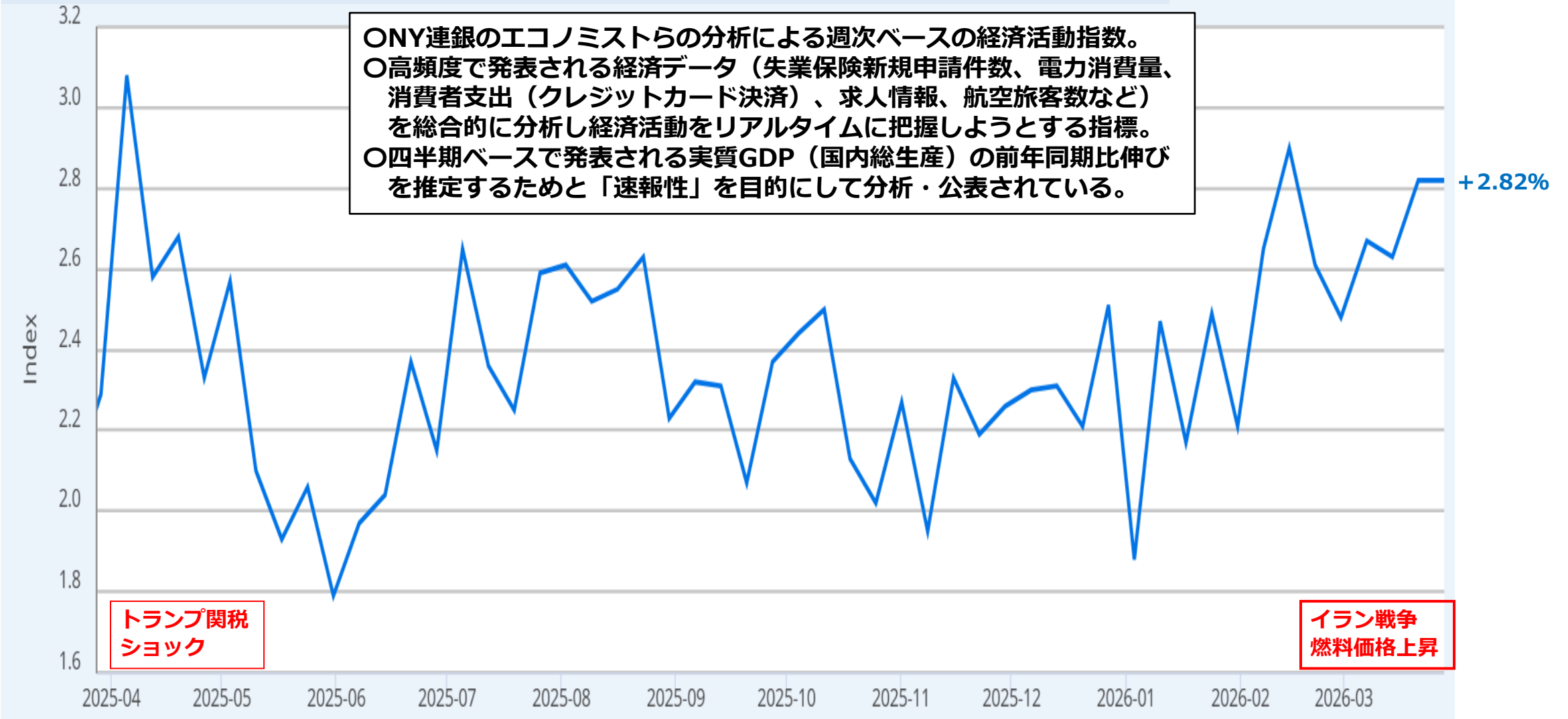
「私はイランには厳しく
対応するつもりだ」

「もし米国の兵士や艦艇
に1発でも撃ってくれば、
私ならカーグ島に乗り
込み占領するつもりだ」

(出所) 英紙GuardianのPolly Toynbee氏が1988年の
取材内容を2017年記事で回顧した発言。

週次データは米国景気の底堅さを示している

過去1年の米国経済活動指数 (WEI : Weekly Economic Index)



「炭鉱のカナリア」は信用不安の一巡を示唆

米・ハイイールド社債スプレッド（過去1年）



プライベートクレジット問題の本質

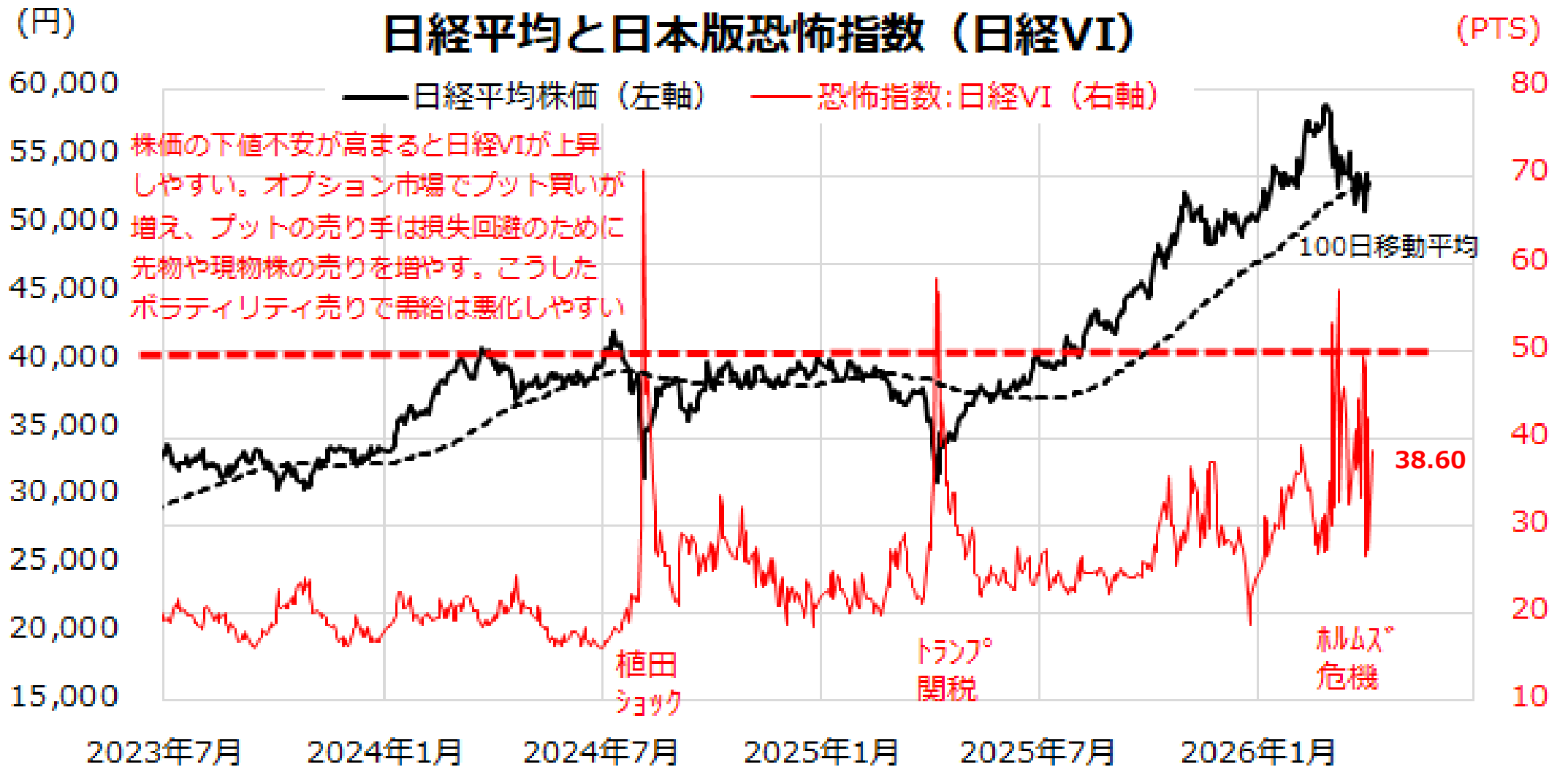
- **SaaS不安**
AIの進展でソフトウェア・SaaS企業の収益悪化懸念が強まった。プライベートクレジットはこの分野への投融資が多く警戒が広がる。
- **流動性不安**
Blue Owl、BlackRock、Morgan Stanleyなどで解約制限が多発して流動性不安を意識。富裕層個人や一部機関投資家が投資している。
- **不透明感**
評価の見えにくさと銀行・保険への波及懸念が「ノンバンク問題」として警戒され、ハイイールド社債全般に信用リスクが伝播した。

米・ハイイールド社債スプレッド（2000年～2026年現在）



(出所) FRED (フィラデルフィア連銀) 公表データより作成 (2026年4月3日)

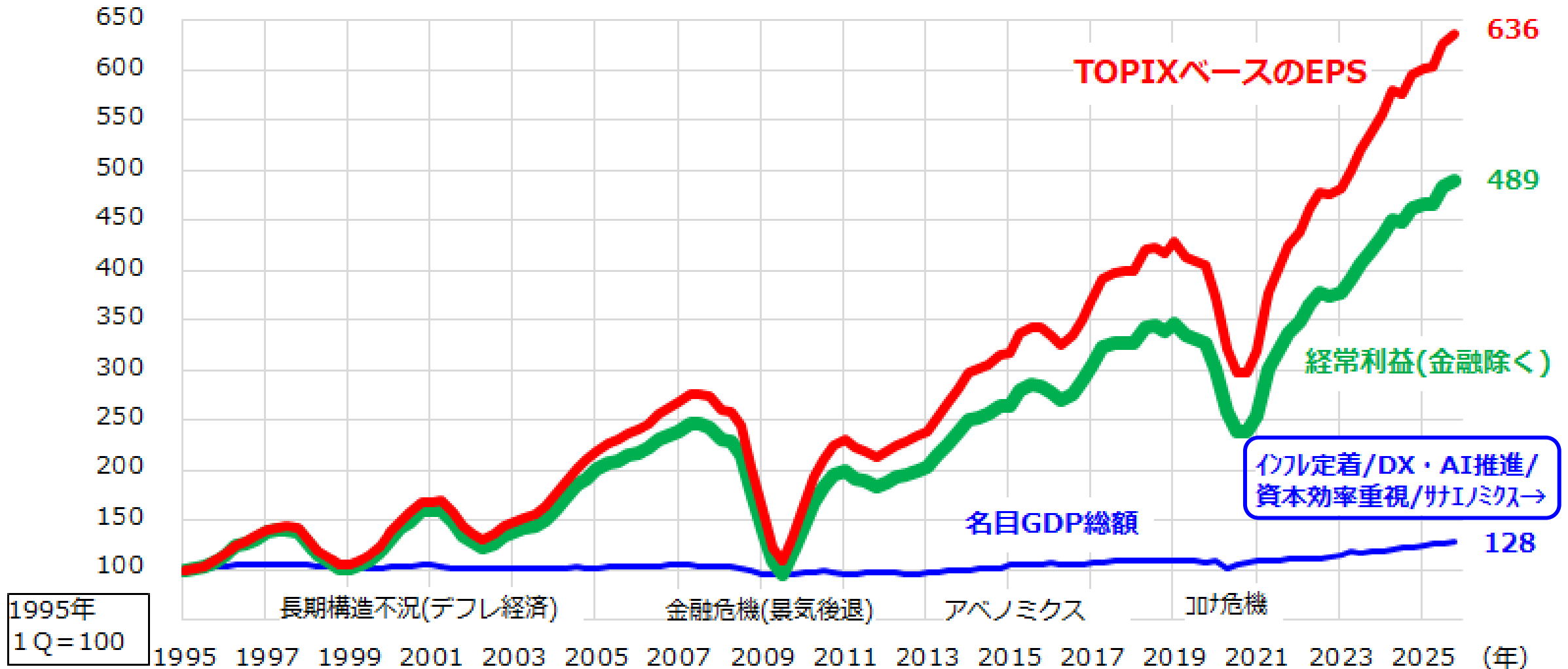
日本株の「ボラティリティ売り」に一巡の兆し



日経VIが50超に上昇した局面の日経平均のドロウダウン（直近高値からの下落率：終値）は、24年8月の「植田ショック」で約27%、25年4月の「トランプ関税ショック」で約19%、そして今回の「ホルムズ危機」では約13.2%となった（3月31日）。

「Post-War」に成長証券として見直されると予想

日本の名目GDP、経常利益、TOPIXベースEPSの長期推移 (1995年初=100)



(出所) 内閣府、財務省、JPX公表データをもとに作成 * TOPIXベースのEPSは12カ月累計実績